

目次

理事長挨拶 1
 交流懇談会 2~3
 研修・親善旅行 4~5
 最低賃金パンフ 6
 事務局より 7~8
 青年部会より 9~10

理事長挨拶

澁谷 修一

組合員の皆様方には日頃より組合事業に対し格段のご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。
 この度の台風19号豪雨に於いては県内にも甚大な被害をもたらし、現在も操業できない企業があるなど事業再開に向け厳しい状態が続いており、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。
 私も当日は自宅前の道路が一段下がっていることもあり冠水し、車は諦め徒歩で帰宅しました。帰る途中の道路は膝上10cm程度、その後水位は更に上昇しかつてない光景を目にすることとなりました。帰宅途中では大雨のなか夜を徹して活動しているボランティアの消防団の姿を見受けましたが、団員の皆さまには敬意を表する次第であります。

さて、10月18日から19日にかけて組合では経営研究委員会、共同受注委員会、親善委員会の共同企画による「ものづくりメッセ2019」視察研修旅行が行われ、多くの皆様にご参加をいただき誠に有難うございました。

会場となったのは燕三条地場産業振興センターで、これは1980年に国が示した地場産業総合対策に基づき、新潟県、燕市、三条市、各商工会議所などの出資により設立された公益財団法人の運営によるものです。私がここを訪れるのは、復興庁の支援により組合で実施した「結の場」から発展し、平成27年全国中小企業団体中央会中小企業活路開拓調査・実現化事業として実施した「社会貢献をめざした『福島モノづくりブランド』の構築のための調査研究」による視察調査に続き2回目になります。

前回は地域ブランドの調査研究ということもあり、地場産センターでは今回の視察でもお世話になった平賀課長からの施設説明と当日開催されていた「全国産業観光フォーラムin燕」の見学、翌日は燕商工会議所に訪問し、高野課長よりリーディング製品であるエコカップ誕生までの試行錯誤や「磨き屋シンジケート」ブランドとともに「メイド・イン・ツバメ」としての磨き以外のブランド化への重層的な対応を伺いました。

寛永時代、燕・三条地域は毎年のように起こる風水害に疲弊し、領民を救うため三条城に在任していた出雲崎陣屋代官の大谷清兵衛が江戸から和釘の鍛冶職人を招き、農民の副業として和釘製造を奨励し、これが燕鍛冶の始まりとなりました。その後、和釘づくりは幾多の業種や分野にわたる変遷を経て、金工技術により1914年に洋食器の見本品が作られ、鍋や食器、厨房製品の製造へとつながり一大産業となりました。しかし、円高不況や人件費の安い海外への生産工場の移転などに伴い、地場産業である金属研磨業者の数は激減し、それに危機感を感じた燕商工会議所の燕産地における研磨のレベルアップ、イメージアップによる生き残り戦略により結成されたのが「磨き屋シンジケート」であります。

「磨き屋シンジケート」は商標登録され、ブランドマークを前述のエコカップに表示しており、このブランドマークは「磨き屋シンジケート」の会員が磨いた製品でないと表示できない規則があります。次いで、燕市にある企業であれば誰でもつけられるブランドマークを作り「メイド・イン・ツバメ」を商標登録し審査会で認証、ブランドマークを表示できる製品を決め品質と機能性そして原産地の証明を行っております。

このようなことは、職場移動のない商工会議所や外郭団体職員など、地場企業を長年にわたり詳細に把握している人物によって企画されており、専門性の高いコーディネーターの重要性を強く感じるところです。かねてより行政機関に対し地場産業の振興にはこのような人材が必要であることを訴えておりますが、今後も引き続き要望してまいりたいと考えており、組合としてもこのような方々との連携を通して地場産業発展に協力してまいりたいと考えておりますので宜しく申し上げます。



■福島市との交流懇談会が開催されました

令和元年8月22日(木)、福島グリーンパレスにおいて福島市商工観光部と当組合との交流懇談会が総勢25名参加のもと開催されました。

懇談会終了後には会場を移して納涼会が開催され、福島市商工観光部の方々や組合員同士で親睦を深めました。

◎座談(座長 澁谷理事長)

(1) 当業界の現状について

○一般機械加工業	(株)佐藤機械工業	代表取締役	佐藤 慶行 氏
○精密機械加工業	東北精密工業(株)	取締役社長	渡辺 隆 氏
○製缶・建築鉄骨業	(株)高槻	代表取締役	高槻 義男 氏
○製缶・板金業	(株)永沢工機	取締役会長	永澤 俊二 氏
○設備・機械据付業	伊藤建設(株)	代表取締役	伊藤 滋 氏
○組合共同受注事業	福島県鉄工機械工業(協)	専務理事	丹治 敏夫 氏
○業界総括	(有)藤橋歯車鉄工所	取締役会長	藤橋 進一郎氏

(2) 福島市の工業行政について

- ・「工業振興係の事業内容並びに産業交流プラザの企業PR展示等」について
福島市商工観光部 産業創出推進室 工業振興係長 小林 氏
- ・「平成30年度
コーディネーター活動の概要と企業訪問活動を通して得た課題と対応策」
産学連携コーディネーター 菊池 氏

福島市商工観光部との交流懇談会・納涼会



■「工場見学・親善旅行」のご報告

令和元年10月18日(金)～19日(土)、経営研究委員会・共同受注委員会・親善委員会の合同企画「視察研修・親善旅行」に、15名の方のご参加をいただきました。

【経営研究委員会】

○「燕三条ものづくりメッセ2019」の視察について

当委員会では、組合員企業が安定して成長してゆく為の活動を行っております。

経営上参考になることには、ハイテクノロジー技術と改善に代表される工程内での問題と品質管理・工程管理・社員のモチベーションを上げる手法・営業力の強化等様々ありますが、今回の視察先は、ステンレス加工で世界的に有名な燕三条地域の展示会选择び、燕三条が得意とする分野はどこなのか、我々が参考にして取り入れるべき内容はどのようなものなのかを期待して企画しました。

会場は広く、100社を超えるブースは圧巻で、行政と地域、製造業が一体となって開催し、参加企業と入場者の多さはうらやましくもあり、福島でも何とか開催することができないかと考えさせられました。

また、ブースの中では担当者が非常に熱心で、聞き入っているとつい長居をしてしまいました。参加企業の内容も多岐に渡っており、とても見応えがある展示会でした。

○「(株)諏訪田製作所」の工場見学について

製造過程が全日オープンになっており、作業現場の廊下を案内担当の従業員の方の説明を聞きながら見学させていただきました。工場内は黒で統一されており、シックな感じを受けました。設備は丁寧に長く使用されており、作業は熟練職人の経験や感覚が重視され、その技術を若い職人に伝えていました。

また、入り口には、プレス抜き廃材で作った騎士のオブジェが飾られており、興味を持たされました。諏訪田製作所では、ニッパー型の爪切りを作っており、最低価格6,000円から30,000円迄とかなり高価格ですが、高価格でも売れているそうで、テレビでも放映されたそうです。案内をしてくださった従業員の方は、“単純作業でも、いかに技術のある職人が心を込めて作っているか”を熱心に解説してくださいました。

今回の視察旅行は、技術的な事もさることながら新潟の方々のモノを売るといふ情熱に感心させられました。福島人はどうにも控えめで、営業が苦手なように見受けられます。福島でも新潟に引けを取らない高度な技術の製品を作っておりますので、新潟の方々のような積極的な営業力を身につけなければならないと感じました。企業が利益を上げる手法には様々ありますので、心がけ次第で変わる事に積極的になりませんか？

【共同受注委員会】

令和元年度視察研修旅行として「燕三条ものづくりメッセ2019」を見学させていただきました。

タイトルの「燕三条の底力！！」の文字通り、モノ作りに掛ける地場企業の熱気にあふれ、まさに盛況でした。出展者の多くは、資本金100万程、従業員数は数名から20人程の企業がほとんどでしたが、展示方法に工夫を凝らし、誇らしげに自社の製品・技術をアピールする様子を見て、我々に不足している何かを実感した次第です。

組合としてこれからの令和の時代を勝ち抜くための一つの「道しるべ」となる有意義な視察であったと確信しています。

【親善委員会】

ものづくりメッセ会場から万葉集にも歌われる弥彦神社へ移動、参加者それぞれの願い込め拝礼した後、ロープウェイで弥彦山山頂駅へ。薄曇りでしたが日本海を眺めることができました。

寺泊岬温泉「ホテル飛鳥」にて懇親会・二次会カラオケにて遅くまで盛り上がり、翌日は雨になりましたが鉄製品販売所・新潟ふるさと村での買い物を済ませ、予定通りの時刻に福島駅に到着、解散となりました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



最低賃金が、
ことしも
変わります。

確認しましょう！

福島県 最低賃金

798 時間額
円

令和元年
10月1日から

26円
UP

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。
使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

最低賃金に関するお問い合わせは
福島労働局または最寄りの労働基準監督署へ
福島労働局ホームページアドレス
<https://site.mhlw.go.jp/fukushima-roudoukyoku/>

最低賃金に関する特設サイト
<http://www.saiteichingin.info/>

WEBで確認！
最低賃金制度 検索



■事務局事業報告・予定

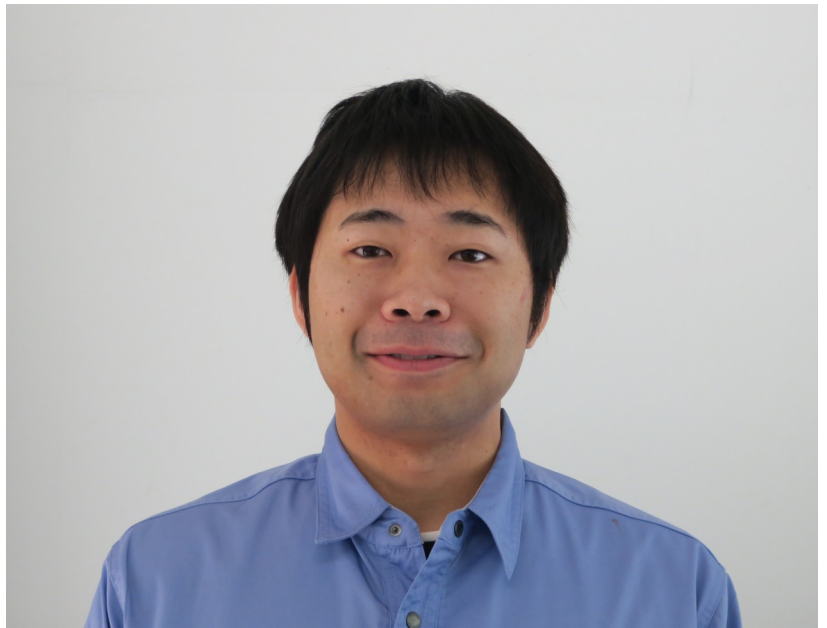
開催日	事 項
7.2	亀岡よしたみ後援会 緊急幹部朝食会
7.18	福島商工会議所 工業部会「視察研修会」
7.19	福島県商工中金会 役員会・通常総会・講演会
7.19	自民党福島県連支援友好団体フォーラム
8.7	第4回 理事会
8.22	福島市商工観光部との交流懇談会
8.27	福島商工会議所工業部会 工業部会・出前工場見学会
9.1	伊藤建設(株)代表取締役ご母堂様 伊藤ふみ様 告別式
9.6~7	福島製作所協力会 技術研鑽会
9.13	第64回福島県溶接技術競技会表彰式(連)
10.2	第5回 理事会
10.18~19	「視察研修・親善旅行」合同開催
10.25	にしやま尚利選対本部 総決起大会
11.18	福島市産学連携推進事業「第3回産学交流セミナー」
11.19	福島商工会議所 工業部会
11.25	福島県中央商工振興協同組合 通常総代会
11.25	福島県鉄工機械協同組合連合会 第2回常任理事会(連)
12.3	組合トップセミナー
12.13	第6回 理事会
12.17	自由民主党福島県支部連合会 年末懇談会
2.1.6	福島市新年市民交歓会
1.17	(株)福島製作所協力会 理事会
1.22	福島県商工中金会 新春講演会
1.31	(株)福島製作所協力会 総会
2.7	福島県鉄工機械工業協同組合 新年会

■新入職員のご紹介

この度、新職員になりました。前職では、NCマシンを使用し旋削加工を行っておりました。この経験を活かして、福島の「ものづくり」と組合員の皆様に貢献していきたいと思えます。

また、日々勉強し知識を深め、皆様に信頼して頂けるよう努力していきます。元気な挨拶と笑顔で頑張ります。よろしくお願いたします。

紺野 和也



青年部会事業報告

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>開催場所</u>
7月19日	第3回定例会	組合2F会議室
8月10日	暑気払い	四季の里
9月1日	第5回青年部ゴルフコンペ	安達太良カントリークラブ
9月13日	第4回定例会	組合2階会議室
11月8日～10日	工場視察	福岡・東洋ホイスト様
12月7日	忘年会	黒潮亭

※青年部役員（部会長、副部会長2名、会計、書記、親善委員）でグループラインを作成し、日程が合わない場合に打ち合わせをしておりました。

青年部会事業予定

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>開催場所</u>
2020年2月	新年会	未定（福島市内）
3月	慰労会	未定（福島市内）
4月	青年部総会	未定（福島市内）

■青年部会員 募集のお願い■

青年部会では組合企業に限らず部会員を随時募集しております。48歳未満の後継者の方は、是非とも入会をご検討願います。

また、入会希望の方は組合事務局へお気軽にお問い合わせください。

工場見学研修会は、11月8日 福岡県糟屋郡新宮町にある 東洋ホイスト株式会社に青年部会員と青年部OBの12名で実施いたしました。

取締役営業部長の友納氏はじめ、製造部長の築瀬氏・課長代理の秦氏のお三方に本社ビル内と工場内を案内していただき、その都度、質問事項にはご丁寧にご説明いただきました。



事業内容としましては、天井クレーンに付帯する巻上機（ホイスト）・走行する為の走行装置（サドル）・クレーン本体（ガーダー）の設計と製造・据付を一貫して行っているとの事です。更に、清掃センターにあるゴミクレーン及びバケット・船舶内に取付けるメンテクレーン等の様々なオリジナル製品を開発しているメーカーでした。

若い年代の方が多く働いており、工場全体の平均年齢が30代後半と、将来性・新製品開発の豊かな企業だと思いました。加えて、働き方改革により1か月残業20時間以内など従業員に対する福利厚生がしっかりしているため、若手が育っているのだと思いました。

ものづくりに対する醍醐味や喜びを作業員の方から伺い、青年部も良い刺激を受け大変勉強になりました。





福島県鉄工機械工業協同組合

URL <http://www.tekkou.or.jp> Email mail@tekkou.or.jp

〒960-8057

福島市笹木野字南中谷地21-4

TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013